

協会Newホームページの概要！その中身とは？

会長の方針＝協会の方針を具現化する方法としてホームページが最適であると判断した役員会では、ホームページ制作チームを編成し、1月末の役員会後、リニューアル検討に入りました。『企画・編集・表現制作』チームと『実践』チームの2班に分かれ、連携を取りながら進めています。方針と具現化への関連は――

	方針	リニューアルホームページ
もっと交流 & 情報	会員同士の協調や絆を深める	『会員専用』『ブログへの書きこみ』など、会員様しか利用できないページを充実させ、さらに、会員証の発行や、名刺や署名など当協会名の利用の工夫検討も含め、会員様の利用度アップに努めます。会員であることの誇りや特典を充実させることも会員間の協調や絆を深めることにもなるのではないかと考えます。
	会員であるメリットを明確にする	『会員募集』ページでは当協会の方向性を明確にし、個人の仕事や考え方により選択できる会員特典を提示します。『会員専用』ページでは会員様しかご覧いただけない情報を提供します。会員様のメリットを追求し、生の声をもとに協会ができる限りのバックアップを考えています。
	他団体との交流	サミット[POPサミットin東京スカイツリー]や協会主催のイベント・勉強会に他団体の講師を招聘してさらに視野を広げるよう企画しています。また、他団体のイベントやセミナーへの参加を積極的に推進します。ホームページでも『協会主催の勉強会やセミナー』『サミット情報・交流情報』を積極的に掲載していきます。
	会員を増やす	POP広告クリエイター資格取得検定受験を公開経営指導協会様と両輪似て推進し、POP広告クリエイターの底上げを図ります。当協会が、受験者の資格取得後のスキルアップをバックアップする態勢にあることもお知らせし、『会員募集』『POP検定』ページで訴求していきます。
	サミットは毎年開催する	サミット開催に合わせて総会を開催します。総会において、1年間の活動ご報告と次年度の活動計画をご提案いたします。会員様にご意見を主張していただく場として重要な開催となります。サミットは、・会員間のきずなを深める・情報を得る・スキルアップする・協会の方針を確認する など、特典を活かす場としても有意義な全国大会であり、協会としても力を入れています。会員外の方々との交流にも良い機会であり、ホームページでのサミット情報を皆様のPRに利用していただきたく思っています。
もっと研究 & スキルアップ	ITを含めたPOP広告の範囲を広げる	『POPサミットin東京スカイツリー』にて、デジタルサイネージ、カラーコーディネーターの先生を招いて講演を行います。『ユーストリーム』の利用も検討中です。世界に発信することの是非を検討しています。
	全会員のレベルアップを図るインストラクター能力を持つ会員を増やす	『プロ養成カリキュラム』思案が出来上がりました。たたき台にして、更なる検討を進めています。ホームページでご報告します。『会員専用』ページの利用拡大を図り、会員専用ページを単なる情報ページにするのではなく、会員様のお仕事やスキルアップにリアルに役立つページにするべく、検討中です。
もっと外部へPR	協会のネームバリューを高める	2008年末に協会ホームページをリニューアルして以降約3年、当協会の認知度もかなりアップした感があります。これはアクセス情報解析数値にもみられます。今年度の全面リニューアルホームページでは、『協会概要』『事業内容』『活動報告』を積極的にPRすることで、更なる認知度を高める措置を図っています。更に、一般社団化（法人組織体）により認知度は格段に上がることでしょう。社団法人公開経営指導協会の岩城建雄理事長が顧問に、検定教材グループマネージャーの田中啓一様が監事に就任くださったことも、追い風になっていくことと確信しています。
	会報の中身を充実し会員以外にも配布	本年度発行会報誌より協会を応援くださっている、また応援いただきたい方々への配布を行っています。全国各支部長が主体となって推進しておりますが、春号では、関連団体・関連企業・商工会議所様・元会員様・役員の関係者様などに配布しました。今後は、会員様も関係者様やお友達などへ配布下さって、周りから周知を図ってまいりましょう。皆様からも内容についてのご意見・ご希望・記事の投稿など、積極的な関与をお待ちしています。今後はホームページでも紹介し、購読者を増やしていきます。
	協会事業活動を積極的に開拓する	『事業内容』『活動報告』『POPバーチャルスクール（POPないし、POP関係活動）』を積極的に打ちだします。この度新たに『商用専用ホームページ [QHM] 制作サポートサービス』事業を興しました。QHMでのホームページ制作依頼を事業の狙い目に加えしました。NewホームページもQHMで制作しています。今後も新事業を開拓し、すそ野を広げてまいります。
	一般社団法人化を目指す	事務手続きは着々と進行中です。社団法人化するとどんなメリットが生まれるのか？『信用が増すこと』にあります。この信用は、＝（イコール）『信頼』であり、団体としての信用・信頼だけでなく、しいては私たち会員個々への信用・信頼につながります。個店・個人で仕事をしている人が多い当協会にとって、嬉しく心強いバックボーンになることでしょう。
	ホームページの充実	年頭、新たな協会の形づくりとして「より新しい情報を共有しつつ、全員で〔知識〕〔知恵〕〔技術〕を互いに高め合っていくこと」をお約束しました。そのためにも会員同士の結束力が重要なポイントともなります。ホームページの充実が新たな協会の形づくりの基盤となっていくこととでしょう。今後もより一層行動力を持って開発を続けることをお約束します。

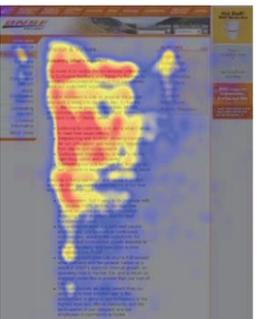
協会ホームページが生まれ変わります

新しい会長をお迎えしてスタートし、会長の方針で時代に求められる協会を目指し、ホームページを充実させることになりました。ホームページのリニューアルは大変な作業になりますが、負担をうまく分担できる仕組みを考え、いつでも・どこからでも新しい情報が更新できるように、リニューアルにとり組んでいます。

「ホームページ制作の大事なポイント」

●3秒ルール（ホームページを見る人は、自分のほしい情報を探すのに3クリック、3秒で求める情報が見つからないとすぐに去ってしまうそうです。）

色々検証した結果Fパターン目線の流れで情報を探していることが調査の結果分かりました。※図は目線の流れを表したものです。チラシなどを読む目線はZラインで動くといわれていますがホームページではFパターン目線で流れるそうです。協会のホームページはタイトルバナーとナビメニュー（横の流れ）、左のメニュー（縦の流れ）、そして（真ん中の横の流れ）コンテンツ上部に重点を置いた、シンプルで見やすい・きれい・求める情報が探しやすいFライン構造になっています。



ホームページでの視線の経路をビジュアル化した画像

●ウィンドウズ・マックなど、ブラウザが違ってもレイアウトが崩れない、SEO対策（検索エンジン対策・自動リンク構造）がしっかりしていて全自動で検索エンジン対策になるソフトで作成しています。「ICT」インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジーという言葉があります。簡単に言えば人と人が情報を交換するためのインターネット上の技能ということになるでしょう。

「ICT」の時代にホームページ、ブログ、ツイッター・フェイスブックなどでHP作成技能やフラッシュ、動画などの知識や作成技能を学んで誰でもが、いつでもどこでもの「ユビキタス社会」に経済活動に参加できるようになれば良いと思いませんか？会員のみならず、今まで学んできた本物のPOP知識や技能を「ICT」を学び、活用し社会に発信して豊かになることを夢見ています。

QHMホームページ委員会 担当 石野

日本POPサミット協会の新顧問決まる！！

岩城建雄氏（公開経営指導協会理事長）に顧問をお引き受け頂きました！

安達会長が顧問から会長になられた後、顧問に公開経営指導協会理事長の岩城建雄氏をお迎えいたしました。

社団法人公開経営指導協会はPOP広告クリエイター認定機関です。